課題名　術後水腎改善からみた当院における後腹膜鏡補助下小児腎盂形成術の治療成績

作成日：2026年8月25日（第1版）

当院の研究責任者 （所属）	小林　めぐみ （栃木医療センター　小児外科・小児泌尿器科）
他の研究機関および 各施設の研究責任者	なし
本研究の目的	本研究では、当院で小児腎盂尿管移行部通過障害（UPJO）に対して後腹膜鏡補助下腎盂形成術を施行した患者を対象に、術前後の超音波所見を後方視的に評価し、術後水腎症の改善経過を明らかにします。特に、腎盂前後径（APD）およびその改善率（PI-APD）、水腎症 grade の経時的変化を評価するとともに、閉塞機序や術中所見、病変切除・再建内容と術後水腎改善との関係を探索的に検討し、当院における本術式の治療成績を明らかにすることを目的とします。
研究期間ならびに 研究対象となる期間	許可日～2027 年 12 月 31 日 （研究対象期間　2023 年 1 月 1 日～2026 年 8 月 31 日）
研究の方法 （使用する試料等）	●対象患者 2023 年 1 月 1 日～2026 年 8 月 31 日に栃木医療センター小児外科・小児泌尿器科で、腎盂尿管移行部通過障害に対して後腹膜鏡補助下腎盂形成術を施行した小児患者 6 例 ●利用する情報 電子カルテ、手術記録、超音波・CT 等の画像検査、腎シンチグラフィ／利尿レノグラム等に記録された既存情報を利用します。年齢、性別、患側、臨床経過、術前後の水腎症 grade、腎盂前後径（APD）、その改善率（PI-APD）、腎実質所見、腎機能、術中の閉塞機序・病変所見、病変切除・形成・吻合内容、術後経過および再介入の有無等を検討します。
試料/情報の 他の研究機関への提供	なし
個人情報の取り扱い	利用する情報から氏名や住所等の患者さまを直接特定できる個人情報は削除し、研究用の識別コードを用いて管理します。研究成果は学会発表や論文等で公表する予定ですが、その際も患者さまを特定できる情報は使用しません。
本研究の資金源 （利益相反）	本研究に関連し開示すべき利益相反関係にある企業等はありません。
お問い合わせ先	本研究への診療情報提供を希望されない方は、下記までご連絡ください。 電話：028-622-5241(代) 担当者　小林　めぐみ（栃木医療センター小児外科・小児泌尿器科）